

令和6年度 愛媛県中学校総合体育大会 バドミントン競技の部
監督会議資料 (団体戦)

愛媛県中学校体育連盟バドミントン専門部

1 参加チーム一覧

郡市・区分	男子(15)	女子(16)
四国中央	土居 新宮	土居 新宮
新居浜	中萩 川東 東 新居浜スマッシュ	中萩 川東 ZEST Lapin
西条	西条北 西条西	西条北
今治・越智		PEEPS
東温・上浮穴	久万 川内	久万 川内
松山	東 津田 久谷 道後	久谷 道後 鴨川 南
伊予	砥部	砥部 松前

2 日程

※ 時間の前後は起こり得る。会場での案内放送に従うこと。

- (1) 8:30～ 開場 ※ 今年度は会場との打ち合わせで8:30開場
監督は1階フロアの大会本部で公式練習の受付を行う。
2階観客席は郡市別に座席を指定
前年度優勝及び準優勝チームは旗または杯を本部に返還
- (2) 8:40～ 公式練習(団体戦登録選手のみ※ 最大7名)
放送でチーム別の練習コート及び開始時刻を指示する。
チームの指導者や保護者は練習に参加しない。
- (3) 8:50～ 監督会議
1階男女トイレ付近の広場で行う。
- (4) 9:25～ 諸注意伝達
選手は2階観客席に着席
- (5) 諸注意終了10分以内 1回戦コール開始
- (6) 決勝戦終了後～ 結果発表及び表彰
表彰対象チーム(ベスト4以上)がフロアに降りる。
- (7) 表彰終了後 四国総体出場チーム監督に大会参加について説明する。大会本部前に参集

3 進行

組合わせやタイムテーブル等の必要な資料は各自が印刷すること。中体連HP参照。

- (1) 当該年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに同大会運営規定及び同公認審判員規定に則って大会を実施する。
- (2) 全てのマッチを21点3ゲーム実施(延長は2点連続先取もしくは30点先取で勝利)する。
- (3) YONEXエアロセンサー700の室温に適した番号のシャトルを使用する。
- (4) コート番号は本部から見て左側手前から1～4、右側手前から5～8コートとする。
- (5) 団体戦は次のとおりに実施する。

試合の進行について

- ・ 試合は番号順に行う。原則1面展開で行うが、進行が遅れる場合、2面に展開することがある。準決勝以降は、2面展開で行う。
- ・ タイムテーブルは予定であり、開始時刻やコートの変更が起こり得る。放送をよく聞くこと。試合が連続する場合は、10分程度の休憩を空けることがある。
- ・ 団体戦の試合開始前にオーダー用紙を本部に提出すること。1回戦は監督会議後、2回戦以降は、試合終了後速やかにオーダーを提出する。試合中でも勝敗が決した時点で提出を要請することがある。
- ・ トーナメントの右側チームがステージ側のコートを位置取る。
- ・ どちらかのチームが初回戦となる場合、全てのマッチを行う。以降、勝敗が決した時点で試合を打ち切る。
- ・ 試合中の汗拭きや給水は試合を中断しないように心掛け、必ず主審の許可を得て行う。

- すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルをとることができる。また、ゲーム間に120秒を超えないインターバルをとることができる。選手の元に行くことができるのは最大2名までとし、残り20秒の時点でベンチ又はアドバイザー席に戻る。
- 足の痙攣などが生じたときは、1分間程度の時間において監督と選手が相談し、継続又は棄権を判断すること。なお、選手に監督・コーチ又はマネージャーが触れてはならない。
- 競技時の服装は、現行（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。上着の背面中央部には、縦20cm・横30cmの範囲内に、チーム名及び姓の表示をする。同姓の場合は、名の1文字目を入れる。上衣は下衣に入れること。試合途中で上衣が出た場合は、インターバル中などに直すこと。
- 試合終了後は勝者チームがサインをして、本部にスコアシートを持参する。
- 優勝チームに旗と賞状、メダル、準優勝チームにカップと賞状、3位チームに賞状を授与する。上位2チームが四国大会に出場する。
※ 四国総体は、8月3日(土)、4日(日)徳島県のとくぎんトモニアリーナで実施する。愛媛県中学校体育連盟HPを通して、大会参加申込を行うこと。

審判について

- 試合の敗者チームが次の試合の審判を務める。敗者チームは勝者チームからスコアシートを受け取る。なお、1回戦の審判は本部が指定する。
- 審判が試合開始と終了の号令を掛け、スムーズに進行する。
- 鴨川中学校及び松前中学校の生徒が補助員として、得点板係を務める。
- 教員や外部指導者、部活動指導員、地域クラブの指導者が審判を務めない。
- いかなる場合も審判に対する抗議を認めない。それと同様の行動も慎むこと。ただし、質問は認める。団体戦では、当該選手又は監督が主審に質問する。判定に服さない場合は、その試合を放棄するものとみなす場合がある。
- 次のような行為をフォルトとする。
 - 試合中、審判に無断でコートを離れる。
 - サービスを故意に遅らせる。
 - レシーバーが故意に構えを遅らせる。
 - 相手を威嚇したり、ネットをラケットでたたくなどしたりする、品行を損なう行為。
 - 体力や息切れの回復狙い、あるいはサイドコーチを受けるためにプレイを中断する。

4 コーチ座席（アドバイザー席）

- 団体戦では、次の者がコーチ席に座ることができる。
監督、コーチ、登録してあるマネージャー、選手 ※ 県総体申込用紙に記載した者
- 各チームで作成したIDカードを見える位置に必ず着用する。外部指導者は、IDカードの代わりにコーチ証を着用する。着用していなければ、体育館のフロアに降りることを認めない。IDカードには「氏名」、「監督」などの身分、「所属チーム名」を記載する。
- 監督及びコーチの服装は、上衣は襟付きのシャツ、ポロシャツまたはバドミントンウェアに準ずるものとし、Tシャツ等は認めない。また、下衣は長ズボン（ジーンズは不可）、スカートを着用する。履物はシューズとする。サンダルやスリッパ等での入場は認めない。

5 会場の利用

- 水容器は倒してもこぼれないものを使用すること。また、水筒やペットボトルホルダー等の使用し、水滴（結露）が床につかないように工夫する。
- 応援は、拍手（手拍子等リズムを取ることも含む）並びに声援による。リズムを合わせる場合は、まとまりのあるものにする。鳴り物や脚を踏み鳴らす行為等の応援は認めない。団扇を叩くのは不可とする。
- 観客席では、立って観戦又は応援することを控える。
- 館内のごみ箱には、館内の自販機で買った物のごみのみを捨てる。
- フロア以外での羽やラケットを使った練習を禁止する。
- フロアでの携帯電話やタブレットなどの電子端末の使用を禁止する。
- 荷物及び貴重品は各チーム、各自が管理すること。

令和6年度 愛媛県中学校総合体育大会

監督会議資料（個人戦）

愛媛県中学校体育連盟バドミントン専門部

1 参加チーム一覧

郡市・区分	男子	女子
四国中央	土居 新宮	土居 新宮
新居浜	新居浜スマッシュ 中萩 大生院 東 川東 角野	ZEST 川東 Lapin 東 北 大生院 中萩 船木
西条	西条北 西条西 GMA 西条東	西条北 GLANZ BC
今治・越智	西 日吉	桜井 PEEPS 南
東温・上浮穴	久万 川内	久万 重信 川内 JBC
松山	東 北 道後 津田 久谷 鴨川	南第二 道後 南 久谷 鴨川 RIZZ 東
伊予	砥部	砥部 港南 松前
宇和島・北宇和		広見
西予	宇和ジュニアバドミントンクラブ	宇和ジュニアバドミントンクラブ

2 日程

※ 時間の前後は起こり得る。会場での案内放送に従うこと。

- (1) 8:30～ 開場 ※ 今年度は会場との打ち合わせで8:30開場
2階観客席は郡市別に座席を指定
- (2) 8:40～ 公式練習（個人戦登録選手のみ）
放送で地区毎の練習開始時刻を指示（練習は10分間）
シングルス出場選手が大会に出場しない者を連れて練習しても構わない。ただし、同じ選手が2度練習しない。チームの監督や保護者は練習に参加しない。
- (3) 8:50～ 監督会議
1階男女トイレ付近広場で行う。
- (4) 9:25～ 諸注意伝達
選手は2階観客席に着席
- (5) 諸注意伝達終了10分以内 1回戦コール開始
- (6) 決勝戦終了後～ 結果発表&表彰
表彰対象者（ベスト4以上）がフロアに降りて賞状を受け取る。
- (7) 表彰終了後 四国総体出場チーム監督に大会参加について説明する。大会本部前に参集

3 進行

組合わせやタイムテーブル等の必要な資料は各自が印刷すること。中体連HP参照。

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則並びに同大会運営規定及び同公認審判員規定に則って大会を実施する。
- (2) 全てのマッチを21点3ゲーム実施（延長は2点連続先取もしくは30点先取で勝利）する。
- (3) YONEXエアロセンサー700の室温に適した番号のシャトルを使用する。
- (4) コート番号は、本部から見て左側手前から1～4、右側手前から5～8コートとする。
- (5) 個人戦を次のとおりに実施する。

試合の進行について

 - ・ 試合番号順に放送で対戦者名及び学校名、コートを示す。
 - ・ コールを聞き逃さないように注意する。コール後、直ちにコートへ入ること。
 - ・ 選手は線審を1名連れて試合に参加する。不足している場合は試合の20番前までに本部に申し出る。
 - ・ 試合中の汗拭きや給水は、試合を中断しないように心掛け、主審の許可を得て行う。
 - ・ 割り当てられたコートで試合開始直前に練習することを認めない。
 - ・ すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルをとることができる。また、ゲーム間に120秒を超えないインターバルをとることができる。選手の元に行くことができるのは最大2名までとし、残り20秒の時点でベンチ、アドバイザー席に戻る。

- ・ 試合中、足の痙攣などが生じたときは、1分間程度の時間において監督と選手が相談し、継続又は棄権を判断すること。なお、選手に監督・コーチ又はマネージャーが触れてはならない。
- ・ 競技時の服装は、現行（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。上着の背面中央部には、縦20cm・横30cmの範囲内に、チーム名及び姓の表示をする。同姓の場合は、名の1文字目を入れる。上衣は下衣に入れること。試合途中で上衣が出た場合は、インターバル中などに直すこと。
- ・ 試合終了後、勝者がスコアシートにサインをして、本部に提出する。
- ・ 試合が連続する場合は、10分程度時間を空けることがある。
- ・ 各種目3位に入賞した選手が四国大会の出場権を獲得する。準決勝で敗れた者同士で順位決定戦を行う。
- ・ 全日程終了後、結果発表と表彰を行う。表彰該当者のみフロアへ参集する。
- ※ 四国総体は、8月3日(土)、4日(日)徳島県のとくぎんトモニアリーナで実施する。愛媛県中学校体育連盟HPを通して、大会参加申込を行うこと。

審判について

- ・ 試合の敗者が次の試合の審判を務める。敗者は勝者からスコアシートを受け取ること。なお、第一試合の審判は本部が指定する。
- ・ 審判が試合開始と終了の号令を掛け、スムーズに進行する。
- ・ 鴨川中学校及び松前中学校の生徒が補助員として、得点板係を務める。
- ・ 教員や外部指導者、部活動指導員、地域クラブの指導者が審判を務めない。
- ・ 審判が足りない場合は、本部に申し出る。
- ・ 審判に対する抗議を認めない。それと同様の行動も慎むこと。ただし、質問は認める。個人戦では、当該選手が主審に質問できる。判定に服さない場合は、その試合を放棄するものとみなす場合がある。
- ・ 次のような行為をフォルトとする。
 - a 試合中、審判に無断でコートを離れる。
 - b サービスを故意に遅らせる。
 - c レシーバーが故意に構えを遅らせる。
 - d 相手を威嚇したり、ネットをラケットでたたくなどしたりする、品行を損なう行為。
 - e 体力や息切れの回復狙い、あるいはサイドコーチを受けるためにプレイを中断する。

4 コーチ座席（アドバイザー席）

- (1) 個人戦では、次の者がコーチ席に座ることができる。
監督、団体戦に登録してあるコーチ・マネージャー、選手（団体戦との重複出場の場合）

※ すべて県総体申込用紙に記載した者

- (2) コーチ席に座る者は、受付で配布したIDカードが見える位置に必ず着用する。外部指導者は、IDカードの代わりにコーチ証を着用する。着用していなければ、体育館のフロアに降りることを認めない。IDカードには「監督」などの区分、「所属チーム名」などを記載する。
- (3) 監督及びコーチの服装は、上衣は襟付きのシャツ、ポロシャツまたはバドミントンウェアに準ずるものとし、Tシャツ等は認めない。また、下衣は長ズボン（ジーンズは不可）、スカートを着用する。履物はシューズとする。サンダルやスリッパ等での入場は認めない。

5 会場の利用

- (1) 水容器は倒してもこぼれないものを使用すること。また、水筒やペットボトルホルダー等の使用し、水滴（結露）が床につかないように工夫する。
- (2) 応援は、拍手（手拍子等リズムを取ることも含む）並びに声援による。リズムを合わせる場合は、まとまりのあるものにする。鳴り物や足を踏み鳴らす行為等の応援は認めない。団扇を叩くのは不可とする。
- (3) 観客席では、立って観戦又は応援することを控える。
- (4) 館内のごみ箱には、館内の自販機で買った物のごみのみを捨てる。
- (5) フロア以外での羽やラケットを使った練習を禁止する。
- (6) フロアでの携帯電話やタブレットなどの電子端末の使用を禁止する。
- (7) 荷物及び貴重品は各チーム、各自が管理すること。